

月日(曜)	⑯ 7月17日(火)	⑰ 7月18日(水)	⑲ 7月19日(木)	㉑ 7月20日(金)
献立名	(黄) 麦ごはん (赤) 牛乳 ① 豚肉ととうふのくず煮 ② だいこん葉のごまいため	(黄) コッペパン(国内産小麦100%) (赤) 牛乳 ① 豚肉のケチャップ煮 ② 野菜のスープ煮	(黄) 麦ごはん (赤) 牛乳 ① ハッシュドビーフ ② 野菜のホットマリネ	(黄) ごはん (赤) 牛乳 ① はものこはくあげ ② 伏見とうがらしのおかか煮 ③ すまし汁
材料	(赤) 上豚肉 20g (赤) とうふ 80g (緑) たまねぎ 30g (緑) ショウガ 0.9g (緑) 干しいたけ 0.8g 料理酒 1 塩 0.2 こいくちしょうゆ 2.5 うすくちしょうゆ 3 (黄) 片切り粉 1.5 けずりぶし 1 (緑) だいこん葉 70g (黄) サラダ油 0.8 (黄) すりごま 2 (赤) 花かつお 0.4 みりん 0.8 うすくちしょうゆ 2.2	(赤) 上豚肉 35g (黄) ジャガイモ 60g (緑) にんじん 1 (黄) サラダ油 1 (黄) さとう 1 トマトケチャップ 8 ウスターーソース 4 (赤) ミックスビーンズ 20 (緑) たまねぎ 15 (緑) にんじん 10 (緑) キヤベツ 40 チキンスープ 10 塩 0.6 こしょう 0.02 うすくちしょうゆ 2.5 ローリエ 0.01	(赤) 牛肉 35g (緑) たまねぎ 70g (黄) ホールトマト缶詰 20 (黄) サラダ油(炒め用) 1 (黄) サラダ油(ルー用) 2 (黄) バタータイ 4 小麦粉 8 バーベキューソース 6 ウスターーソース 2.3 塩 0.9 こしょう 0.01 こいくちしょうゆ 1.4 ローリエ 0.01 (黄) ジャガイモ 20 (緑) にんじん 10 (黄) キヤベツ 40 (黄) キオリーブオイル 1 (黄) さとう 0.4 塩 0.4 こしらえ 0.02 うすくちしょうゆ 2.5 こりんご酢 1.5	(赤) はしょもが酒 50g (緑) 料理塩 2 (黄) 米粉 1 (黄) 片油 0.2 (赤) 伏見とうがらし 1.7 (緑) つきこん 9 (黄) 花かり 15 (赤) おんせん 15 (緑) こいくちしょうゆ 1.5 (黄) だとう 15 (赤) 布ふな 0.9 (緑) だいしう 30 (黄) 小松菜 20 (赤) 松葉 0.8 (緑) 干し塩 0.2 (黄) うすくちしょうゆ 4 (赤) かけだし 0.8 (黄) 昆布 0.8

*台風接近時には、
献立を変更する
場合があります。
献立変更が決まり
次第、文書により
お知らせいたします。



月日(曜) ⑫ 7月23日(月)

献立名
(黄) 麦ごはん
(赤) 牛乳
① 鶏肉と野菜の煮つけ
② 切干大根の煮つけ

材料
(赤) 鶏肉 30g
(黄) ジャガイモ 65g
(緑) たまねぎ 45g
(緑) にんじん 15g
(緑) 三度豆 10g
(黄) サラダ油 1
(黄) 三温糖 0.8
みりん 2.3
こいくちしょうゆ 2.3
うすくちしょうゆ 4
(赤) 油あげ 10
(緑) 小松菜 30
(緑) 乾燥切干大根 5
(黄) 三温糖 1.3
うすくちしょうゆ 4
けずりぶし 2

7月分アレルギーの原因物質を含む食品の表示について

日	献立名	食品名	アレルギーの原因物質
7/18	① 野菜のスープ煮	ミックスビーンズ	× ○ × × × ×
7/6	⑦ 七夕そうめん	そうめん	× × × ○ × × ×
7/5	⑩ 高野どうふと野菜のたき合わせ	高野どうふ(角切)	× ○ × × × ×
7/9	⑯ 肉みそいため	コチジヤン	× ○ × × × ×

*「通常使用分」の食品を、4月分の献立表にまとめて記載しておりますので、合わせてご確認ください。なお、京都市教育委員会のホームページからも見ることができます。
*たらこ、ししゃも、わかさぎ、きびなご、はたはた、にしん、しらすばし、すばし等については、魚卵が含まれる可能性があります。
*魚介類・海藻類は、いか及びえび・かに・その他の甲殻類、またはアレルゲンである甲殻類由来のたんぱく質が極めて微量ながら検出される可能性があります。
*揚げ物の献立の油については、油(揚げ用)と表記します。油は、1回で捨てずに何回か使用するため、他の食材の成分等が油に残っている可能性があります。
*不明な点は、学校もしくは京都市教育委員会体育健康教育室にお尋ねください。

今月の給食指導の目標

よくかんで食べよう

今月の行事献立

行事名	献立番号
七夕	7

7月分平均栄養量

区分	エネルギー(kcal)	たんぱく質(g)
高学年	730	28.8
中学年	650	26.0
低学年	581	23.5

よくかんで食べよう



「よくかむといいことがいっぱい!」

- 歯ならびがよくなる
あごが発達して、きれいな歯ならびになります。
- むし歯になりにくくなる
よくかむと、だ液が出て、よごれやばい菌を洗い流してくれるで、むし歯になりにくくなります。
- 脳のはたらきがよくなる
よくかむと、あごや口の筋肉がよく動きます。そうすると、脳の血流がよくなり、脳がよくはたらくようになります。
- おいしさがよくわかるようになる
よくかむと、口の中で食べ物の味や香りなどをしっかり感じたり、味わうことができます。食べ物のおいしさがよくわかるようになります。
- ★よくかんで食べるためには
- ★かみごたえのあるものを食べましょう
かたいもの・弾力のあるもの・せんい質の多いものを献立に取り入れると、自然とかむ回数が増えます。
- ★大き目に切りましょう
食材を大き目に切ることで、同じ食材でもかみごたえがアップします。
- ★一口の量を少なめにしましょう
一度にたくさん食べ物を口に入れてしまうと、よくかんで食べることができません。

行事献立

地産地消献立

和(なごみ)献立



今月のセルフまぜごはん

⑦こぎつねちらし(具)……油あげ・にんじん・干しいたけの具を各自がごはんに混せて食べます。

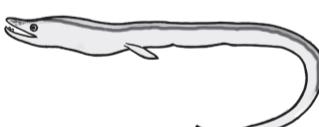
和食について知ろう

~7月分の「和(なごみ)献立」の紹介~

今月の和(なごみ)献立は、献立番号⑥の「はものこはくあげ・伏見とうがらしのおかか煮・すまし汁」です。

『はものこはくあげ』

「はも」は、京都の三大祭りの1つ「祇園祭」に欠かせない魚で、「祇園祭」は「はも祭り」ともよばれています。はもは生命力が強く、海から遠い京都まで生きたまま輸送できるため、鮮魚に乏しい京都で好まれました。はもは小骨が多く、他の地域では見向きもされない魚だったといわれています。しかし、京都では皮は切らずに小骨だけを切る「骨切り」という独特の調理技術が発達し、揚げ物やかば焼き、酢の物、湯引きした「おとし」、「はも寿司」にして食べられてきました。昔の人々の知恵を知り、京都の夏の味覚を楽しんで食べてほしいです。



『伏見とうがらし』

伏見とうがらしは、夏の京野菜の1つです。別名「ひもとう」とよばれるほど、細長く皮がやわらかいのが特徴です。油で炒めた後、ちくわとこんにゃくと一緒に昆布だしで煮、最後に花かつおを入れて仕上げています。夏の京の伝統的なおかずとして、伝えていきたいです。

『すまし汁』

今月の「すまし汁」は、だし昆布とけずりぶしからだしをとり、さらに干しいたけの戻し汁も合わせただしを使っています。昆布のうま味成分「グルタミン酸」とけずりぶしのうま味成分「イノシン酸」、干しいたけのうま味成分「グアニル酸」と3つが合わさり、うま味の強いだしになります。

だしのうま味や香りと、とうふ・小松菜・干しいたけをいっしょに味わってほしいです。

夏の京野菜について知ろう



《万願寺とうがらし》

舞鶴市万願寺地区で誕生したとうがらしです。「とうがらしの王様」とよばれるほど大きなとうがらしです。皮がやわらかく、甘みがあるのが特徴です。種が少なく、焼く・煮る・揚げるなどいろいろな調理法で楽しめます。現在では舞鶴だけでなく、京都府内や他府県でもつくられていますが、給食では京都府産の万願寺とうがらしを使います。

《伏見とうがらし》

伏見とうがらしは、古くは伏見を中心に栽培されてきた京野菜です。先がとがっていて15cm程の長さになります。とうがらしの中では、最も長くなる品種です。辛みがなく、火を通して甘味と香りがよくなります。昔から、夏の京の伝統的なおかずを使われ、親しまれてきました。



《賀茂なす》

京都市北区上賀茂の特産品として有名で、直径が12~15cmくらいのボールのように丸いなです。皮がやわらかく甘みがあるのが特徴です。でんがくや煮物などに使われます。今月の給食では、万願寺とうがらしとともに『京野菜のごまみそかけ』に登場します。



京都市教育委員会のホームページから、今月のレシピ(2つ)を見ることができます。

【京都市 和食推進の日】で検索してみてください。